

## 印度作戦に即應せる宣傳方策

從來の宣傳活動は所謂文化宣傳活動なりしに對し、印度に對しては、政治、經濟、文化、あらゆる面を綜合せる宣傳活動を以てすべきなり

### 綜合宣傳實施要綱

一 インド國民軍叛亂蜂起の指導

一 國防工作  
一 國土防衛軍の指導

一 治安の維持

### 政治宣傳

(一) 印度の地域、人員の龐大性は、武力戰以上に、思想宣傳戰を決定するに非ざらん

(二) イギリスのインド侵略は、インド人の内的對立として、インド人のエネルギイを利用せり、イギリスの武力によるにあらざらん

① インド人に對しては、インドが征服せられたるは却つてインド人の内的對立によるものなることを明かにすべきなり

② たゞ、日本はイギリスの如く彼等を欺くにあらざることを確認すべし

③ 之を通して、インドを反英的に結束せしむること

④ カストはイギリスの強化せるものであり、宗教の分裂亦同じなり、之を否定すること

⑤ インド——アメリカの關係の暴露

#### 經濟宣傳

① インド物資が、イギリスの富を決定し、インドの物資が、インド、アフリカ、支那を亡ぼしたること

② 食糧自足圏の確立——イギリスは之を奪へり

ビルマ其の他よりの供給

③ インド勞働力の再編成

④ インド棉花の輸出、綿製品のインド内部に於ける製造



- ㊦ インド資源の輸出、機械力の日本よりの供給
- ㊧ 一切のイギリスの權益機關のインド還附
- ㊨ 通貨——大東亞通貨圏への結合
- ポンド、ドル圏の否定

文化思想戦

- ㊩ イギリス罪惡史の全面的曝露
- ㊪ インド歴史の闡明
- ㊫ インド宗教分離政策の否定
- ㊬ イギリス國民會議派の清算
- イギリス王制の肅清
- ㊭ インド的教育の確立
- ㊮ インドの科學的調査

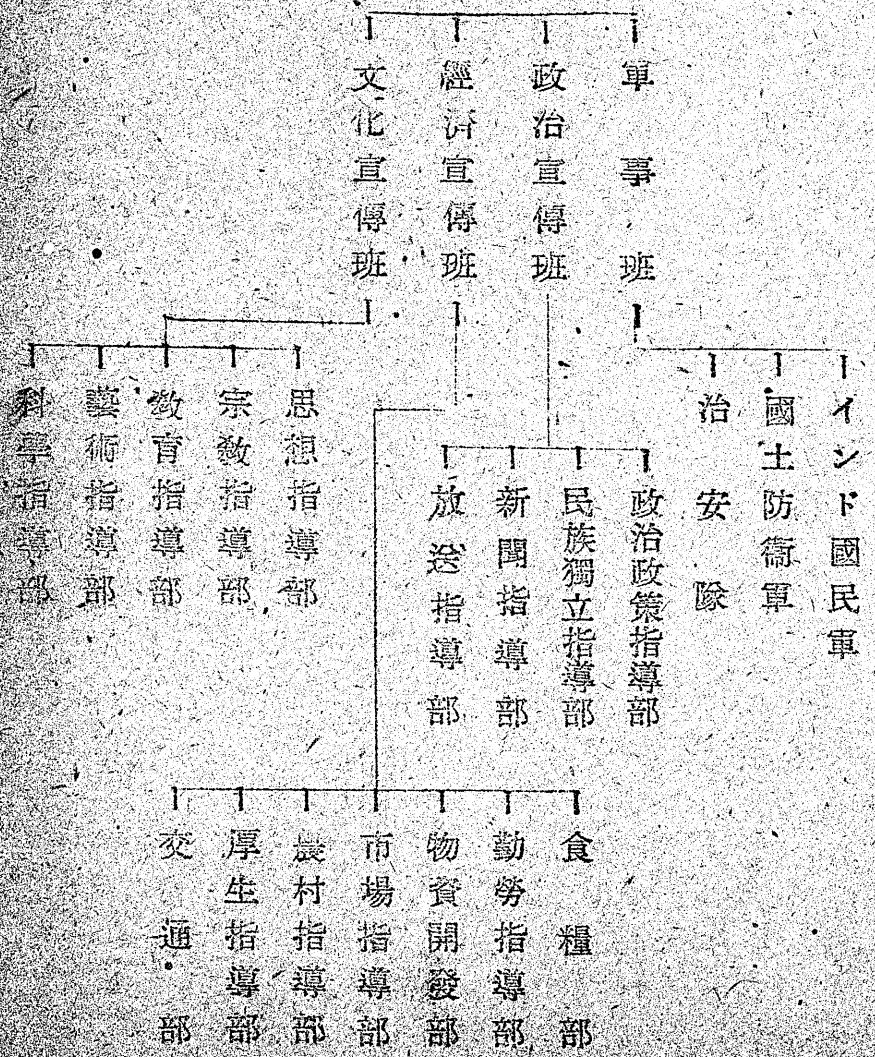
0019

宣傳機構編成

司令官 綜合宣傳隊長

印度工作機關

G. P. S.



0020



宣傳實施過程

一、航空、電波を主とする宣傳

一、捕虜を使用する宣傳

一、國民軍の武裝蜂起

一、宣傳據點——第一期　ビルマ前進基地

第二期　カルカッタ——ベンガルを對象

ボース獨立政權

第三期　デリー——全印度

一、宣傳對象の重點——ベンガル

ベンガル州人を使つて更に前進すべきこと

一、目的——デリー奪取

## 政治政策

### 獨立に關する根本方針

- 一、飽く迄も、大東亞共榮圈の一環としてのインド確立
- 一、親英米ユダヤ的藩王の否定
- 一、人民戰線的國民會議派の否定、ネール、アザツドの勢力の抑制  
(コミンテルンの傾向の否定)
- 一、ガンヂーの精神的原理の再検討
- 一、チャンドラ・ボースを主体とすること
- 一、皇道を以て、諸宗教にその位置を與へ對立を否定す
- 一、イギリスの分割統治的カスト制の否定
- 一、インド的新秩序建設
- 一、インド統一政府(インド的版藩置縣)  
ボース——インド國家代表

0022



經濟政策

- 一、インド自給体制の確立
- 一、米英的植民地搾取の根本的否定
- 一、利權、資本、施設その他一切の米英的經濟機構のインド國家管理への移讓
- 一、食糧自給の確立
- 一、イギリス鐵鋼生産機構の日本管理
- 一、棉花の大量輸出、綿製品の供給（日本共榮圏より）
- 一、インドの紡績生産機構の確立
- 一、インド市場の國內向再編成（イギリス向なりしを改め）
- 一、インド交通の再組織、港灣、河川、道路の改良建設

文化政策

一、放送宣傳の徹底的強化  
移動受信擴張車の活用

一、航空宣傳

一、映畫による宣傳——米英曝露映畫の大量供給

一、新聞宣傳——反米英政策の徹底

インド人の自覺の促成

インド史、大東亞戰爭

一、音楽宣傳

一、宗教

各宗教を所を得しむ

回教宣傳——マホメットに遠れ

アラビアへの呼びかけ



スロージガン

一、印度人の印度

一、印度のアジア的復興

作戦スロージガン

一、デリーへ  
デリーへ

0025